

年頭のご挨拶



香川県中小企業団体中央会
会長 国東 照正

明けましておめでとうございます。

平成21年の新春を迎えるにあたり、中小企業組合関係の皆様にご挨拶申し上げます。

また、平素は、本会の運営に際しまして格別なご支援とご協力を賜っておりますことに深く感謝申し上げます。

昨年のわが国経済情勢を顧みますと、アメリカのサブプライムローン問題による金融危機の影響を受けて日経平均株価がバブル後の最安値を更新する中で、外需に依存してきた日本経済は、世界経済の減速に伴い景気後退局面に入りました。景気の後退により大企業製造業を中心とした生産縮小の影響を受け、中小企業の受注減少や、金融機関からの貸し渋りなどの影響も心配されます。

このような経済状況が厳しい現状の中でも、中小企業は雇用の場の7割を提供しており、地域経済の屋台骨を支える存在です。地域経済の活性化の観点からも中小企業の果たす役割が期待されています。中小企業がその役割を十分に果たし、更なる発展を遂げるためには、個々の事業者による経営革新のほか地域資源の活用、農商工連携等の中小企業の連携やネットワークを強化していくことが肝要であります。また、事業協同組合をはじめとする中小企業連携組織のもと、優れた技術を

持つ中小企業が集まり、新商品の開発、新しいサービスの構築、新しい事業分野への進出を積極的に推進していくことが必要であります。

本会といたしましては、中小企業団体の唯一の専門支援機関として、組合等の連携強化や経営革新、組織化による創業、中小企業組合の新分野進出の支援を実施します。特に、昨年から実施している「地域力連携拠点」を活用した様々な経営課題への支援、さらには情報化社会に対応するIT技術の推進など国・県の中小企業施策に沿った各種事業に取り組んでまいります。また、本会青年部においては、本年6月5日に全国中小企業青年中央会の平成21年度通常総会を高松で開催する計画を立てるなど意欲的に新しい事業に取り組んでいるため、青年部事業を積極的に支援していく所存であります。

新しい年を迎え、中小企業組合をはじめとする関係者の皆様が、決意を新たに、組合等組織の多様な連携のもと、わが国経済の発展と中小企業の振興のために邁進されますことをご期待申し上げますと共に、本年が皆様方にとって前途明るい年でありますようお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

年 頭 所 感



四国経済産業局
局長 徳増 有治

新年明けましておめでとうございます。

さて、我が国経済は、米国のサブプライムローン問題に端を発した世界経済の成長の鈍化や金融不安の広がりなど、かつてない厳しい局面にあります。

四国経済産業局では、政府の「緊急経済対策」の決定に基づく30兆円規模の融資枠の拡充や新たな緊急保証制度の実施等を受け、四国財務局と連携して民間金融円滑化の働きかけを行うなど、中小・小規模企業の資金繰り対策に万全を期すことに注力しています。

こうした当面の経済対策に加え、我が国経済社会の持続的発展に資する次のような地域活性化対策を展開してまいります。

第一に、「農商工連携」の促進です。具体的には、ユズ製品で全国的に有名になった高知県馬路村や、葉っぱを全国に供給する徳島県上勝町のような先進的取組みを広げていこうというものです。昨年7月の「農商工等連携促進法」の施行を受け、試作品作りや販路開拓など様々な支援を行っています。

第二に、「地域力連携拠点」によるワンストップサービスの提供です。昨今の複雑化した中小企業の経営課題に対して、現在、全国316拠点、

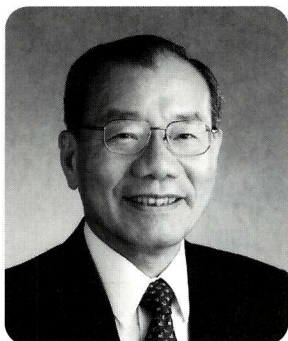
四国では25拠点が整備され、各拠点の「応援コーディネーター」がそれぞれの課題対応をサポートしています。

第三に、産業クラスター形成の推進です。四国には、「元気なモノづくり中小企業300社」に代表されるニッチトップ企業が随所に見られます。しかし、個別企業のみでは力に限界があり、産学連携などの水平ネットワークにより、「面」的な産業集積とその活性化を進めてまいります。「四国テクノブリッジ計画」は、「ものづくり」「健康バイオ」で産業群の形成を目指すほか、今後、域内大企業や他のクラスターとの連携強化にも力を入れてまいります。

第四は、低炭素社会の実現に向け、省エネ・新エネの一層の導入促進に加え、「先駆的な社会システム」のモデルを地域ぐるみで実証する取り組みを強力に支援することとしています。

四国経済産業局は、以上のような地域の未来を切り拓き、日本のモデルともなり得る取組を支援しつつ、経済界・地方自治体、さらには地域住民の方々とともに、引き続き四国経済の自立的発展と我が国の抱える社会的課題の解決に貢献できるよう全力を傾注してまいります。

新しい年を迎えて



香川県知事
真鍋 武紀

明けましておめでとうございます。

昨年は、瀬戸大橋開通二十周年、小豆島のオリブ植栽百周年、県魚ハマチの養殖八十周年、手袋製造百二十周年という香川にとってのメモリアルイヤーであり、様々なイベント等を通して、郷土の魅力を積極的に発信してまいりました。

今年は、「09(まるく) 香川まちめぐり てくてくさぬき」を開催し、「まち歩き」やふるさとの祭り、イベントなどにより、香川の素顔を情報発信し、地域の活性化に努めてまいります。また、2年連続独立リーグチャンピオンに輝いた香川オリブガイナースをはじめ、地域密着型のスポーツチームの活躍にも大きな期待を寄せています。

県では、引き続き、極めて厳しい財政運営が見込まれており、「財政再建」と「重点施策の推進」の両立を図ることを基本に、歳入・歳出両面にわたり、より徹底した見直しを行うとともに、施策の選択と集中をより一層徹底し、重点施策を戦略的に展開してまいります。

本県の中小企業を取り巻く環境は、世界的金融危機に伴う景気後退の影響も加わり、厳しい状況下にあります。こうした中、中小企業が発展を遂げるには、経営革新や、新たな事業展開に積極的に取り組んでいくことが重要です。

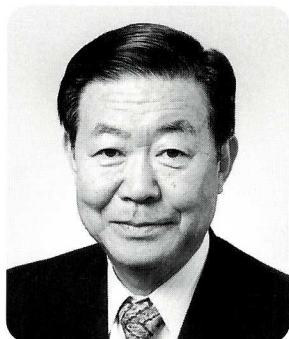
県では、かがわ中小企業応援ファンドを活用し、地域に根差した地域資源や先端技術を活かした商品開発のほか、販路の開拓、人材の育成、生産性向上など、中小企業の多様な取組みを総合的に支援しています。また、今年から、新たに「かがわ農商工連携ファンド」を創設し、中小企業と農林漁業者が連携して取り組む新商品開発などの事業を支援する農商工連携にも積極的に取り組んでまいります。

また、糖質バイオやナノテクは、幅広い分野への応用が期待できることから、今後とも、助成措置や産学官のネットワークの強化、人材育成、試験研究機関による技術支援など、事業化促進のための施策を講じ、新たな産業の創出に努めてまいります。

「みどり・うるおい・にぎわいの創造」を目指し、県民が生きがいを持っていきいきと暮らせる香川づくりを進めてまいりますので、どうか皆様方には、一層のご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

香川県中小企業団体中央会のますますのご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸をお祈りいたします。

年 頭 所 感



全国中小企業団体中央会
会長 佐伯 昭雄

新年おめでとうございます。

平成21年の年頭に当たり、全国の中小企業の皆様並びに中小企業組合等中小企業団体の皆様に新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は政治も経済も激動の年でした。政治においては福田内閣より麻生内閣へ、そして米国ではオバマ氏が大統領に選ばれました。この間急激な原油価格の上昇や多くの原材料の高騰などにより経済は100年に一度という危機的状況になりました。これは米国をはじめとする全世界的な問題であります。

中小企業の厳しい現状に関し、政府も緊急経済対策など多くの手段を講じていますが、簡単に解決するものでもありません。

今年も中小企業は我慢の年となることが予想されます。この様な時にこそ、組合に結集した中

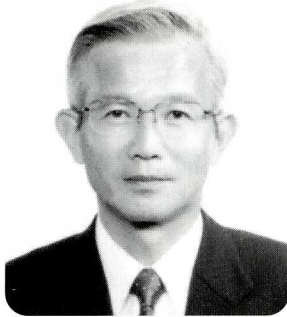
小企業の団結と連携が大切であります。金融情勢としては、昨年10月1日より商工中金が株式会社となり、中小企業金融公庫や国民生活金融公庫等の統合により新しい日本政策金融公庫が発足しました。今後とも中小企業の金融対策に万全を期していただきたいと考えております。

昨年11月20日に中小企業団体全国大会を、2300名の同志の参加を得て仙台市において盛大に開催し成功裏に終了することが出来ました。皆様方に厚く御礼申し上げる次第です。

苦しい時ではありますが、明日のための開発などへの投資を怠らず希望の光が見える年としたいものです。

最後に皆様方にとってこの1年が良い年であることを祈念して年頭の挨拶と致します。

年頭に当たって



株式会社商工組合中央金庫高松支店
支店長 久家 幸一郎

新年明けましておめでとうございます。

当金庫は、昨年10月1日、新商工中金法のもと、協同組織金融機関から特殊会社形態に移行し、新たな一歩を踏み出しました。無事、新体制への転換が行われましたのは、皆さまの変わらぬご支援の賜物であり、まずをもって厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の経済を振り返りますと、サブプライムローン問題を契機とする金融システム不安が次第に深刻化し、実体経済へも広範に悪影響が起きました。今後、こうした経済の悪化がどこまで進むのか、大変懸念される状況にあります。

当金庫の「中小企業月次景況観測」では、昨年11月の景況判断指数が、過去最低値であった平成10年6月を下回りました。内外需の不振からくる売上高の減少、急激な円高進行に伴う採算の悪化、金融危機の影響等による資金面での環境悪化、このように、中小企業を取り巻く環境も急速に厳しさを増す情勢となっております。

当金庫は、設立以来一貫して、中小企業の皆様の成長・発展に向けて努力をしております。上述の通り経済環境は厳しく予断を許しませんが、従来以上に皆様からの相談に対して、懇切、丁寧かつ迅速な対応に努め、セーフティネット機能の発揮に全力を挙げて取り組むことで、共にこの難局

を克服してまいりたいと思います。

また、新商工中金法において、新たな子会社の保有など、業務範囲や自主性の拡大が措置されました。こうした機能を最大限活用し、ソリューション機能や目利き機能を一層強化することで、商工中金グループとして、多様な金融サービスを効率的、安定的に提供し皆様の経営ニーズに的確に対応してまいります。

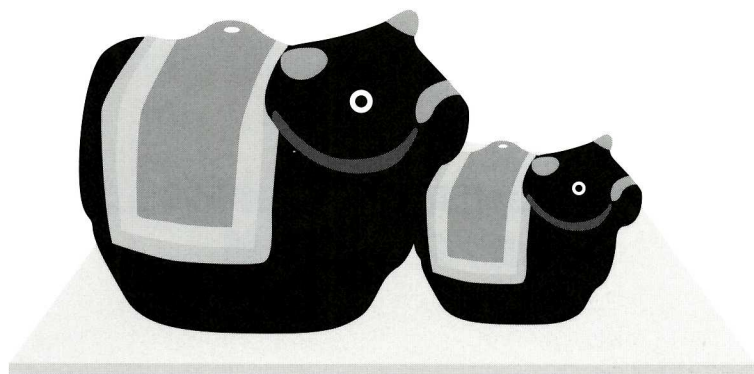
商工中金は、株式会社に変わりましたが、「中小企業組合と中小企業の皆さまの成長に貢献する」という使命は変わりません。

「中小企業の、中小企業による、中小企業のための金融機関」として、「資産運用のよきパートナー」として、引き続き、皆様から信頼され、支持され、従来以上にお役に立てるよう、役職員一同全力で努力を続けてまいります。

今後とも格別のご指導とお引き立てを賜わりますようお願い申し上げます。

年頭にあたり、皆さまのご繁栄とご健勝をお祈りいたしましてご挨拶いたします。

本年もよろしくお願い申し上げます



香川県中小企業団体中央会

会 長	国東 照正	香川県信用組合	理 事	堯天 啓行	香川県製粉製麺協同組合
副 会 長	鹿庭 幸男	香川県商店街振興組合連合会	//	大峯 茂樹	さめきうどん協同組合
//	木内 久	庵治石開発協同組合	//	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合
//	八木 敏彦	全四国スレート販売協同組合	//	大坪 廣巳	香川県電気工事業工業組合
//	細溪 英一	協同組合日専連高松	//	増田 稔	瀬戸内食品加工協同組合
専務理事	谷野 克明	専 従	//	山本 詳二	高松市造園事業協同組合
常任理事	合田 武	香川県鉄工事業協同組合	//	金井 淳三	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合
//	星合 洋一	香川県自動車整備商工組合	//	岡本 景光	小豆島調理食品工業協同組合
//	小竹 義孝	香川県建築事業協同組合	//	久保山 勝	香川県美容業生活衛生同業組合
//	岡 信夫	香川県漆器工業協同組合	//	北村 安朗	建設協同組合高松総合センター
//	榊 久雪	香川県火災共済協同組合	//	塩 日出男	香川県屋外広告美術協同組合
//	小松 義彦	香川県印刷工業組合	//	大倉 健一	香川県農機具商工業協同組合
//	砂川 匡	日本手袋工業組合	//	榊原 賢治	香川県家具商工業協同組合
//	藤井 孝行	四国冷食協同組合	//	川畑 政廣	香川県タクシー協同組合
//	佐々木 勝	香川県食糧事業協同組合	//	鎌田 郁雄	香川県醤油工業協同組合
理 事	北風 幸男	香川県管工事業協同組合連合会	//	石原 和夫	香川県不動産事業協同組合
//	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合
//	田中 光男	香川県中古自動車販売商工組合	//	藤澤 孝行	協同組合三木工業クラブ
//	佐伯 駿	小豆島手延素麺協同組合	//	石井 信之	中央会青年部会長
//	小河 義輝	社団法人香川県トラック協会	監 事	大塚 成和	香川県中央コンクリートブロック協業組合
//	大藪 茂幸	川重坂出事業協同組合	//	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	//	長居 亮三	高松エルピーガス販売協同組合

伊予和田駅は何処に？



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

みなさま、明けましておめでとうございます。当方の担当も6年目に突入しましたが、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年は5月末より、地域力連携拠点事業の「応援コーディネーター」として、中央会の指導員の方々と二人三脚で、主に「地域資源活用」、「農商工連携」の分野について、多くの経営者の方々にアドバイスをさせていただきました。そして、経営者の方々が試作されているモノや考えられているサービスは実に興味深く、アイデアに富んだものがたくさんあることに大いに感心させられました。この度の世界同時不況を克服するためには、この「アニマル・スピリット」がぜひとも必要です！ただし、僥倖ながら、苦言を呈させていただきますと、製品化まで一気に突っ走ってしまう前に、競合する既存の商品について、今一歩踏み込んだリサーチを...

さて、ここからが今回の話題です。実は当方はご当地映画が好きでして、四国を舞台とする作品はできるだけ揃えることにしています。例えば、「男はつらいよ(第19、46作)」、「釣りバカ日誌(第1、16作)」、「虹をつかむ男」、「がんばっていきましょい」、「船を降りたら彼女の島」、「機関車先生」、「世界の中心で、愛をさけぶ」、「ロード88」、「UDON」、「眉山」、「海がきこえる」などです。

これらの映画の中で、当方がこれまで最も心惹かれたのは、渥美清主演の「喜劇 団体列車」でした。渥美清が寅さんシリーズに出演する前の、1967年の古い作品なのですが、「奥道後温泉を近くにひかえた小さな駅、伊予和田駅に勤務する独身30歳の国鉄職員」が主人公であり、松山、宇和島、高知、徳島などの観光スポットが多数登場します。当時の風景が偲ばれるとともに、時すでに高度成長期に差し掛かっているわけですが、世情・人心ともに、ずいぶんのんびりしていたのだなあ、との感慨もひとしおです。ですので、「癒し」を求めて、何度も再視聴するわけです。

ところで、劇中でメインの舞台として使われている「伊予和田駅」、これはどこの駅舎を撮影に使用したのでしょうか？この映画はオールロケ、そして当時の国鉄四国支社が全面協力しているのですが、当時の国鉄にも伊予和田駅はないのです。そこで約2年前、このことを「ちょっと調べてみよう」という軽いノリで、行動を起こしてみたのです。

まず最初に試みたのは、劇中で駅構内に列車が入線してくるシーンがあり、ここで画面をキャプチャーして印刷し、これを、現在のJR四国路線の前面展望DVDで、各駅から見える山のカタチと照合する作業です。もっとも、奥道後付近という設定より、松山近辺が対象となります。しかし、上り下りの両方からの風景を比較してみました、これだ！と思えるほどの似通った地形を見いだせず、

この試みはあえなく失敗に終わりました。

続いて試みたのは、インターネットによる検索です。「伊予和田」でサーチをかけると、約90件程度のヒットはあるものの、核心の答えは見つからずじまいでした。たいていの場合、マニアックな解説をしてくれるHPがヒットし、まことに重宝するのですが、ネットの場合、それは比較的最近のことを対象としたものに限られる傾向にあるようです。

わりと簡単に判明するとタカをくくっていたのですが、こうなると長期戦を覚悟しなければならないようです。そこで、次は、映画を制作した会社にお問い合わせメールを出してみました。しかし、これについては今日に至るまでまったく返信がなされず、映画会社というのはずいぶん薄情なものだなあ、との思いが募るだけでした。さらに、社員の方を通じて、JR四国の広報室に問い合わせを行ってみたのですが、「宇和島駅を舞台に撮影が行われた」という情報しか残っておらず、資料は社内の図書室にもないそうです。

また、古書サイトで「日本の駅」という、1984年当時の全国の駅舎3,000以上が網羅されている分厚い本を取り寄せ、参照してみたのですが、音が似ていると有力候補であった伊予和気駅も、駅舎のカタチが違います...

ここで、再び、映像を吟味してみました。すると、フェリーらしき船が冒頭に一瞬出てきます。当時、国鉄には「仁堀(仁方一堀江)航路」があり、堀江駅は松山から3つ目の駅です。すると、堀江駅が実にくさいことになります。また、さらに映像から得られる情報を総合し、駅構内や周辺の平面図を起こしてみました。そこで「国鉄&堀江駅」で検索を行うと、映画にも出てきた商店の看板が写っている写真がヒットしました。また、「日本の駅」には掲載されていない堀江駅の1983年当時の駅舎写真を掲載しているHPより、全体イメージを得ることができ、これらを照合することにより、「伊予和田駅のロケは堀江駅で行われた」との結論を得た次第です。

さて、このことを後日知り合いになったJR四国のOBの方に話したところ、「おお、あの映画は、確かに堀江駅を使いたのー」と、懐かしそうに詳細を説明してくれました。当方は、「この方と先に会っておけば...」という思いとともに、「実際に経験していることには適わない」との感慨も抱きました。

ヒトが苦勞して調べて結論に到達する過程を、「経験」はこともなげに乗り越えてしまいます。さまざまな経験を豊富に蓄積していることは、リアルタイムの判断を要求される場合にはことさら貴重なものとなるのでしょうか。このような「経験」をうまく引き継いでいくことが、企業の無形の強みにつながっていくようにも思えますが、果たしてみなさの会社では、どのような状況なのでしょう？

中小企業経営塾第1回、第2回を開催



▲講師の黒瀬直宏教授

第1回「中小企業経営と事業承継」(11月27日)

講師:専修大学商学部教授 黒瀬 直宏 氏

高松国際ホテル(高松市)において開催した第1回経営塾には、県内の中小企業経営者並びに後継者70名が受講しました。

この日は、「中小企業経営と事業承継」をテーマに、専修大学商学部教授で経済学博士の黒瀬直宏氏を講師にお招きしました。

黒瀬氏は、「事業承継には、親族による承継、従業員による承継、M&Aによる承継の3形態があるが、後継者不足による廃業で年間20万～35万人の雇用が失われている」と現状を述べた上で、親の会社を継がない一番の理由を「事業に魅力がないからで、後継者を育ててきたつもりが、実際に後を継ぐ時に身内から反対されることもよくある。明確なアイデンティティーを持った企業価値を有する独立企業でないと、後継者から見ても魅力的に見えない」と問題点を指摘。企業価値を高めるには、「優れた技術が必要になるが、商品を作る独自市場を作るには、潜在ニーズを掴むしか方法はない。お客さんも気づいていない心のつづやきを発見することが新しい需要を掘り起こす」また、新たな市場開拓をするためには、「その場にはいないと得られない『場面情報』を共有できる体制が必要で、幹部しか会社の内部情報を知らない状態よりは、全社員が情報を共有している方が、優れた経営戦略を作り出す」と情報共有の重要性を述べ、「各自が判断して仕事をしていくことは、社員が働きながら同時に社長を兼ねていることとなる。この環境が、自然と社内に経営者を育てる。ここで、優れた先代の経営者が社内にいれば、社員が頼ってしまい、後継者となるべき人が育たない。後継者候補を選んだ上で権限を委譲して資産を承継していくことが、新たな経営体質を構築していくことになる。事業承継自体は、革新を生み出すいい機会になる」と講演を結びました。



▲講師の川野雅之氏

第2回「中小企業の再建・再生手法」(12月16日)

講師:有限会社川野コンサルティング 代表取締役 川野 雅之 氏

リーガホテルゼスト高松(高松市)において開催した第2回経営塾には、県内の中小企業経営者並びに後継者75名が受講しました。

講師には、有限会社川野コンサルティング代表取締役の川野雅之氏をお迎えし、「これだけは知っておきたい『中小企業の再建・再生手法』」と題して講演いただきました。

川野講師は、講演前半部分で、今後の金融再編と中小企業への影響、不良債権処理の仕組みなどについて詳しく説明した上で、倒産しないための会社の仕組み作りとして、①手形の発行、手形の割引を抑制する、②複数の金融機関からの借入時の留意点、③取引先1社に対して売上げ等を依存しすぎない一等を具体的に挙げるとともに、経営不振に陥った時の経営者の考え方、行動のポイントを解説しました。

講演の後半部分では、「中小企業の外部環境は、めまぐるしく変化している。過去の数字にとらわれず、自分たちを取り巻く現況を常にチェックすることが必要」と経営者には冷静に市場を分析する客観的視点が必要である旨を述べ、少子高齢化に伴う国内の市場縮小についても「今後は、企業の過剰供給は避けることが出来ず、他社との棲み分けが必要」「供給側の論理ではなく、消費者側の立場で発想すること」とアドバイスしました。

税理士等を対象に年間100回近いセミナー講師を務めるとともに、数多くの中小企業の再建・再生事例を手がけられている川野講師の実践的な話に、参加者は熱心にメモを取りながら聴き入っていました。講演終了後にも、会場に残った参加者から順次川野講師に個別の相談等が行われました。



▲講演の様子

中小企業底上げ・地域活性化香川県集会を開催

12月5日、県内商工4団体（香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商工会議所連合会、香川県商店街振興組合連合会）共催のもと、坂出グランドホテルにおいて「中小企業底上げ・地域活性化香川県集会」を開催しました。



▲決議を読み上げる本会会東会長

集会は、木村義雄衆議院議員、四国経済産業局土居修身産業部長、香川県田坂雅美商工労働部理事、香川県議会宮本欣貞経済常任委員長をはじめ、ご来賓多数出席のもと、4団体の役員の中小企業者約170名が参加して行われました。

香川県商工会連合会都村忠弘会長より主催者を代表して挨拶を行った後、香川県商工会議所連合会綾田修作会長から、中小企業は受注が急減し、販売不振に陥っており、資金繰りも悪化し、自助努力の限界を超えているとの厳しい現状を訴える意見表明が行われました。続いて、本会会東正会長より、日本経済の活力の源泉である中小企業の生産性を向上させ、地域経済の活性化を図るため下記の5項目の要望が提案されました。これを受け、中小企業者が力を結集し、各事項の実現に向け関係機関等に要望を行っていくことが全会一致で決議されました。

最後に香川県商店街振興組合連合会鹿庭幸男理事長が閉会挨拶をし、盛会のうちに終了しました。

【集会決議】

1. 「緊急総合対策」および「生活対策」果敢な実行と機動的な経済財政運営
2. 中小企業支援の拡充強化
3. 地域経済の活性化と地域間格差の是正
4. 瀬戸大橋をはじめとする本四連絡橋の通行料金の大幅な引き下げ
5. 防災対策の推進



▲集会風景

香川県外国人研修生受入組合連絡協議会が講習会を開催



▲講師の阿田首席審査官

香川県外国人研修生受入組合連絡協議会は、12月10日、ウェルシティ高松において講習会を開催しました。この講習会は、研修生受入組合の相互交流と事業の適正な運営を図ることを目的に開催されたもので、当日は組合関係者ら65名が出席しました。

楠井芳則副会長（香川県縫製品工業協同組合理事長）の開会挨拶の後、高松入国管理局首席審査官である阿田正一氏を講師にお迎えして、「入国管理局から見た外国人研修生受入機関の現状と問題点並びに今後の対応について」をテーマにご講話いただきました。

阿田氏より外国人研修生受入における一般的留意事項と不正行為認定の状況等についての報告の後、平成21年通常国会で法改正が予定されており、制度が改正される可能性が高いため、実際に改正された場合は、講習会等を通じて周知を徹底していく旨の説明を受けました。

また、座学研修の実施体制、研修内容、送出し機関の保証金等について申請のポイントを分かりやすく解説していただきました。

その後、質疑応答が行われ、出席者からの申請に必要な書類、不正を発見した時の対応策等についての質問に具体的にお答えいただきました。

中央会だより 4

改正組合法対応研修会を開催



▲講師の塚越正司税理士

本会は12月4日、ホテルニューフロンティア（高松市）において改正組合法対応研修会を開催し、県下の中小企業組合関係者80名が受講しました。

研修会は、「組合法改正に伴う決算関係書類等作成上のポイント」をテーマに、講師には税理士の塚越正司氏をお迎えしました。塚越氏は、埼玉県中小企業団体中央会に20余年勤務の後、埼玉県で税理士事務所を開業。現在、独立行政法人中小企業基盤整備機構の登録専門指導員や埼玉県中央会顧問なども務められているほか、今回改訂された中小企業等協同組合会計基準作成委員でもあり、中小企業組合の会計・税務はもとより組合運営の現場に関する指導もいただきました。

今回の改正のアウトラインとして新会社法にリンクした改正で組合会計の基本となる施行規則ができ、決算書の作成方法が具体的に示された旨を述べられた後、財産目録、貸借対照表、損益計算書及び剰余金処分案の作成について個別に解説がありました。

損益計算書については、収益・費用を8つの区分（①事業収益②賦課金等収入③事業費用④一般管理費⑤事業外収益⑥事業外費用⑦特別利益⑧特別損失）に分けて表示すること、各区分ごとの損益についても表示すること義務づけられ、加えて複数の重要な経済事業を実施している組合では、当期利益又は欠損の原因を明確にし、組合運営の基本である公平性を維持するためにも事業別の損益計算を行う必要性を強調されました。また、組合特有の税務について、法人税率の優遇措置、利用分量配当の損金算入等について説明され、特に固定資産税については地方税法348条第4項により、事業協同組合等の事務所及び倉庫が非課税となっているが課税されている場合があるので確認する必要があることを説明されました。

改正組合法に対応した決算関係書類の様式については本会ホームページに掲載してありますので、ご活用下さい。



▲研修会の様子

中央会だより 5

雇用維持と求人確保等に関する緊急要請

12月24日、本会に対して、香川県知事、香川県労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、正社員の求人枠の拡大や働きやすい雇用環境の整備などを含む雇用確保等に関する協力要請がありました。

金融危機による世界的な景気後退に伴い、派遣労働者などの雇止めや新規学校卒業者の採用内定取消し、また、正規労働者の雇用調整といった動きが全国的に広がり、県内でも同様の事案が発生しております。

今回の要請は、このような状況を踏まえ、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対してなされました。

つきましては、会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

- (1) 非正規労働者の雇用の安定
- (2) 新規学校卒業者の採用内定取消しの防止について
- (3) 離職者の再就職支援



▲要請を受ける谷野専務理事

自由民主党に全国大会決議を要望



▲自民党中小企業議員懇話会で要望する各県中央会長

■自由民主党中小企業議員懇話会が開催される

12月10日午前8時より、「自由民主党中小企業議員懇話会」（会長：甘利明衆議院議員）が党本部において開催され、甘利会長をはじめとして、臼井日出男副会長、尾見幸次副会長、逢沢一郎事務局長、大野功統衆議院議員等議員多数の臨席がありました。

全国中央会からは、佐伯昭雄会長（宮城県中央会会長）、鶴田欣也副会長（愛知県中央会会長）、国東照正副会長（香川県中央会会長）、輿縄薫副会長（熊本県中央会会長）のほか、都道府県中央会会長が出席し「佐伯会長より、「第60回中小企業団体全国大会」において採択された『決議』の実現を要望するとともに、大会決議の中から特に、「資金繰り対策」「軽減税率の引き下げと投資促進税制の創設」「下請取引の適正化」「職業能力開発」の4点について強く訴えました。

■自由民主党三役に「全国大会決議」実現を要請

また、同じく12月10日、全国中央会・佐伯会長、鶴田副会長、国東副会長、輿縄副会長、山崎常務理事らが、党本部を訪れ、保利耕輔政務調査会長、細田博之幹事長、笹川総務会長とそれぞれ面談の上、「第60回中小企業団体全国大会」において採択された『決議』を直接手渡し、決議事項の実現を要請しました。



▲自民党・細田幹事長に決議を手渡し中全・佐伯会長ら

地域融資動向に関する情報交換会開催される

■金融の円滑化と緊急保証枠拡大を経産省政務官に要望

12月19日、経済産業省大臣政務官の谷合正明氏が来高し、四国経済産業局において、県内商工3団体（香川県中小企業団体中央会、香川県商工会連合会、香川県商工会議所連合会）や香川県信用保証協会、香川県銀行協会などと意見交換会を行いました。

これは、11月以降、経済産業大臣以下が、各地に赴き、経済団体や金融機関等の代表者から中小企業金融に関する実態や要望を直接聞き取りしている活動の一環であります。

この度の意見交換会は、毎年、資金需要が高まるこの時期に開催されている「地域融資動向に関する情報交換会」と併せて開催されました。

谷合大臣政務官から、出席した香川県信用保証協会等に対し、「中小・小規模企業の資金繰り支援に万全を期して欲しい」旨の申し入れがあり、これを受け、本会を始め商工3団体からは、大臣政務官に対し、県内中小企業の景況の厳しさに触れながら、10月31日にスタートした緊急保証制度の「対象業種の拡大」や「保証審査の迅速化」など、中小企業金融の円滑化について要望しました。

また、「金融支援に加え、事業面での支援についても重点的に取り組んで欲しい」旨の意見も述べました。

組合企業訪問 頑張ってます



■ 所属組合 香川県ディスプレイ協同組合

■ 役職名 代表理事

会社の概要



代表取締役会長 石原 英輝

代表取締役会長 石原 英輝
代表取締役社長 石原 敬久
創設 昭和27年4月1日
設立 昭和30年7月1日
資本金 3,000万円
従業員数 15人
本社住所 〒761-8014
高松市香西南町358番地1
TEL 087-882-2231 (代)
FAX 087-882-8822

営業所の所在地 ●高松営業所
〒760-0052
高松市瓦町2丁目7-11
TEL 087-861-6833
FAX 087-861-6827
●丸亀営業所
〒763-0082
丸亀市土器町東7丁目823番地
TEL 0877-22-3816
FAX 087-882-8822

事業内容 1. テント工事全般 (施設・装飾用、産業用)
2. 式典、イベントプロデュース
3. 懸垂幕・横断幕 (屋外インクジェットプリント)
4. 繊維産業用資材
5. オーニング

ホームページ <http://ishihara-inc.com>
E-mail mail@kk-ishihara.co.jp

沿革

昭和27年4月 高松市瓦町にて創業
昭和30年7月 「有限会社石原商会」設立
昭和45年5月 本社を高松市香西南町に移し、
「株式会社イシハラ」に組織変更
昭和56年4月 式典・イベントレンタル部を設置
平成12年8月 インクジェットプリント部門を設置
平成19年1月 代表取締役社長 石原英輝が
代表取締役会長に就任
専務取締役 石原敬久が代表取締役
社長に就任

ディスプレイ業界のリーダー企業

株式会社イシハラは、香川県ディスプレイ協同組合 (21 組合員) の加盟企業であり、代表取締役会長の石原英輝氏は、平成19年から同組合の代表理事を務め、自社経営のみならず、業界のリーダーとして幅広く活躍中です。

ディスプレイという業種は一般に理解されにくい現状ですが、広告表現と同じく「空間を演出する伝達技術」のことです。株式会社イシハラでは、「テント工事全般」、「式典・イベントプロデュース」、「懸垂幕・横断幕 (屋外インクジェットプリント)」、「繊維産業用資材」、「オーニング」等幅広い業務に企画の段階から携わっています。

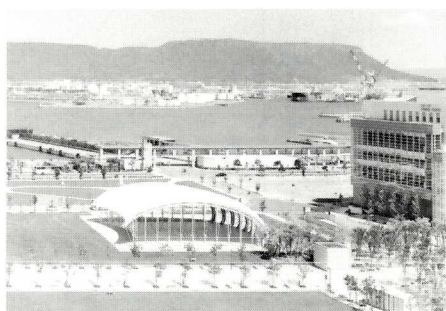
テント工事全般

【施設・装飾用】

多くの人が集まり、特別の時間を楽しむレジャー施設やイベント会場では、見て心躍るカラフルな演出と、快適な時間を過ごせる機能性を追及し、人間らしさや潤いの空間といったワンランク上の価値を高める必要があります。また、バスターミナルや駐車場などのパブリックスペースや店舗では、デザイン性・機能性はもちろんのこと耐久性も大切な課題です。当社では、キャンパス以外の素材も積極的に導入し、フレキシブルな造形も



◀ 本社全景

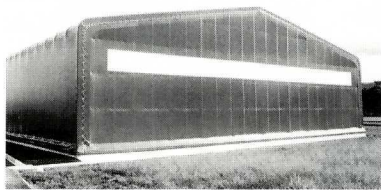


◀ サンポート
フェスティバル
ループ
(テントドーム)

展開し、さらに都市空間との調和をはかりながら心豊かにくつろげる空間を創り、人と人、街と人の出会いの素晴らしさを演出しております。

【産業用】

産業用テントは、軽度、高強度、優れた経済性と施工性などが求められ、業界のニーズとともに進化しています。当社では「何を」「どんな環境で」利用するのかを的確に把握し、常に最良の各種テントをご提案しています。例えば、全天候型の倉庫または作業所を実現する開閉式テントやテント倉庫、可動式テント、作業性に優れたシートシャッターなど、さまざまなタイプを開発し、多様なニーズに応えております。

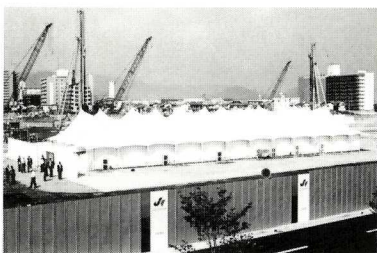


▲テント倉庫

式典・イベントプロデュース

当社では、公共・民間施設の各種工事の起工式をはじめ、植樹祭や団体などのビッグイベントの屋外式典の規模や目的、会場に合わせて最適な式典づくりをお手伝いしております。

イベントは、人と人、心と心を結ぶ華やかな祭典です。近年では、四季折々の各種イベントや発表会などの企画・イベントにおいても、グレードの高い空間演出が求められています。当社では、地域のふれあいイベントや博覧会などの大型イベントへの参画で培ったノウハウをもとに、プランニングから演出、運営までをトータルにお手伝いします。参加者が心から楽しめる、そして人と人の



▲高松シンボルタワー起工式

出会いの素晴らしさ、感動が生まれる華やかなイベントを演出します。

懸垂幕・横断幕(屋外インクジェットプリント)

カラフルなバナー、美しくデザインされた横断幕・懸垂幕はまちの風景に欠かせません。当社では、これまでに積み重ねてきたノウハウと、最先端の技術をもって、催し物・イベントの看板・バナーから建築中のマンションや工事現場のPRサイン、懸垂幕・横断幕など膜体を使ったあらゆるサインを提案しております。スペースや用途によってどんなサイズ・大きさも可能です。また、店

舗オープンやイベントの告知、企業のPR等お知らせしたいことを一目で、更に印象強く伝えることができます。データ製作からプリント後の加工、施工まで一貫して自社で出来る強みを生かし、お客様のご要望に即時に対応します。



▲大型横断幕

繊維産業用資材

建築現場での安全対策や防音対策、落下防止対策など、仮設資材に対するニーズはますます多様化しています。また、トラック・物流業界では、「美しく耐久性に優れたシート」が求められています。このような現場の声に伝えるため、当社では、膜体だけが持つ特性を有効に活用した豊富なバリエーションの繊維資材、さらにはキャンパス以外の素材の研究・導入をはかっています。

オーニング

オーニングとは「日除け」「雨おおい」を意味する言葉です。キャンパスを巻き取ることによって自在に光や陰、そして風をコントロールし、皆様のライフスタイルを優しく包むお手伝いをします。さらに、有害紫外線をほぼ100%カット、そして部屋のエアコン稼働率を約70%削減し、健康空間創りや省エネ効果にも大きく貢献します。当社では、キャンパスの種類を豊富に取り揃え、お客様の目的、お好みに合わせて多様な色・デザインをご提案しております。

セラ宇多津
オーニング



今後の抱負

膜体による空間造りでは人々を強い日差しや風雨から守るだけでなく、心安らぐ潤いの間、作業の効率を高める充実の間を提供し、厳かな式典や華やかなイベント会場造りでは喜びや感動を分かち合えるふれあいの間を演出します。

また、どんな大きさやデザインでも可能な膜体による屋外サインによって、まちの元気をカラフルに応援します。

心の時代と言われる今日、お客様の安心と快適を常に心掛け、高い水準で満足いただけるよう一つの機会に心を込めて取り組みます。

創業以来56年、3代に亘って培った信頼と実績を更に向上させ、活力あふれる豊かな地域づくりに貢献してまいります。

心から心へ。笑顔から笑顔へ。
確かな技術とノウハウで人と街を心豊かに彩ります。

商工中金だより

「中央会推薦貸付制度」のご案内

●貸付制度の概要

貸付対象者	香川県中小企業団体中央会ならびに当公庫が定める支援対象テーマ(※)に取組む組合・組合員で、香川県中小企業団体中央会から推薦された者
資金用途	設備資金、運転資金
貸付限度	100百万円(貸付金額は当金庫所定の審査によります)
貸付利率	当公庫所定の貸出利率-0.3%(固定金利) ただし、貸出期間5年超については、長期プライムレートを下限とします。
貸付期間	当金庫所定の審査によります
担保	当金庫所定の審査の結果、必要となる場合があります
保証人	(組合へのご融資の場合)原則、組合役員 (組合員へのご融資の場合)原則、代表者1名
期限前返済	可能です。ただし、期限前返済手数料が発生する場合がございます

当公庫の審査の結果で融資できない場合もございます。(審査の結果につきましては、直接お申込人に回答いたします。)

※具体的な支援対象テーマ

- ☐新設組合支援
- ☐女性・子育て支援
- ☐ものづくり支援
- ☐環境対策支援
- ☐地域資源活用支援(農商工連携を含む)
- ☐BCP支援

【お問い合わせ先】

株式会社 商工組合中央金庫 高松支店

〒760-0052 高松市瓦町1-3-8

TEL 087-821-6145 FAX 087-851-6074

日本政策金融公庫だより

中小企業事業からのお知らせ

【貸付制度のお知らせ】

なお、下記掲載は貸付制度の一部ですので、詳しくは日本政策金融公庫高松支店中小企業事業までお気軽にお問い合わせください。

融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)	融資制度	融資限度額	融資利率	特別利率限度額	融資期間(最長)
新事業育成資金	6億円	特別利率③ ただし、6年目以降は 基準金利+0.2%	6億円	設備 15年 運転 7年	地域活性化・ 雇用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ (③-0.4)	5億4千万円	設備 20年 運転 7年
新事業活動促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	環境・エネルギー 対策資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①②③ 特設工本利率 特設工本利率	4億円	設備 15年 運転 7年
IT活用促進資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 15年 運転 7年	社会環境対応施設 整備資金	7億2千万円	基準利率 特別利率②	2億7千万円	設備 15年
企業活力強化資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①③	2億7千万円	設備 20年 運転 7年	事業再生支援資金	7億2千万円	基準利率+2.5% 基準利率+1.0%	—	設備 10年 運転 5年
海外展開資金	2億5千万円	基準利率	—	設備 15年	企業再建・事業承継 支援資金	7億2千万円	基準利率 特別利率①	2億7千万円	設備 20年 運転 10年

注) 同一貸付でも、信用リスクや貸付期間により、適用利率が異なります。融資利率等の詳細は日本政策金融公庫HPをご覧ください。

国民生活事業からのお知らせ

ビジネスマッチングサービス開始のご案内

平成21年1月(サービス登録受付平成20年12月1日開始)から、日本政策金融公庫(国民生活事業)ホームページ上でビジネスマッチングサイト「ビジネスマッチングゲート」(<http://match.k.jfc.go.jp/>)を開設します。

販路の拡大や自社製品のPRなど取引先の開拓を希望する公庫(国民生活事業)お取引先のみなさまに、インターネットを活用し、全国規模のビジネスチャンスをご提供するサービスです(ご利用は無料です。)

○サイトへのご登録は、現在公庫(国民生活事業)に事業資金のご融資の残高を有する方に限ります。

○お客様のご融資のお取引状況などからご利用いただけない場合があります。

教育資金のご案内

	融資限度額	金利	返済期間
教育資金を必要とされるみなさまへ 国の教育ローン	学生・生徒お一人につき 200万円以内	2.45%	10年以内 交通遺児家庭または母子家庭の方については1年の延長が可能です。

(注) 金利は平成20年12月20日現在のものです。

株式会社 日本政策金融公庫 高松支店 〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2・3階 URL:<http://www.jfc.go.jp/>

中小企業事業(旧 中小企業金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル3階

TEL:087-851-9141 FAX:087-822-1423

国民生活事業 融資相談係(旧 国民生活金融公庫)

〒760-0023 高松市寿町2-2-7 COI高松ビル2階

TEL:087-851-0198 FAX:087-822-9274

2日	小企業者組織化特別講習会	(庵治町公民館)
3日	事業承継関連実務家研修	(e-とぴあ・かがわ)
4日	改正組合法対応研修会	(ホテルニューフロンティア)
	組織化指導中央研究会	(東京都)
5日	中小企業底上げ・地域活性化香川県集会	(坂出グランドホテル)
	香川県北方領土返還促進協議会理事会	(マリンパレスさぬき)
7日	中小企業組合検定試験	(マリンパレスさぬき)
9日	全国中央会研修体系等検討委員会	(東京都)
	四国地区商店街振興連絡会議	(徳島県)
10日	香川県外国人研修生受入組合連絡協議会講習会	(ウェルシティ高松)
	組合等情報ネットワークシステム等開発事業ワーキング委員会	(丸亀シティサービス協同組合) (中央電業(株))
11日	全国中小企業活性化シンポジウム～12日	(東京都)
	香川県ディスプレイ協同組合臨時総会	(平安閣)
15日	かがわIT経営応援隊推進委員会	((財)かがわ産業支援財団)
	障害者就労支援シンポジウム	(サンポートホール高松)
16日	中小企業経営塾(第2回)	(リーガホテルゼスト高松)
17日	中小企業応援ファンド・経営者・後継者育成事業連絡会議	(香川県庁)
18日	労働契約に係る相談会	(本会)
	組合青年部組織化強化研究会	(東京都)
19日	地域融資動向に関する情報交換会	(四国経済産業局)
	下請けガイドライン説明会	(オークラホテル丸亀)
	組合等Web構築支援事業委員会(高松ライオン通商店街振興組合)	(組合)
22日	青年部正副会長会	(本会)
24日	高松市子育て支援中小企業表彰選考委員会	(高松市役所)
	小豆島国際交流事業協同組合年末懇親会	(石床)
	経済4団体への雇用確保等緊急要請	(本会)
25日	香川県金融経済懇談会	(全日空ホテルクレメント高松)

中小企業経営塾(第3回)並びに新春交流会のご案内

このたび下記要領により中小企業経営塾(第3回)並びに新春交流会を開催いたしますので、皆さまお誘い合わせの上、多数ご参加下さいますようお願い申し上げます。

- 1.日 時 平成21年1月20日(火) 16:00～
- 2.場 所 高松国際ホテル 新館2階「瀬戸の間」 高松市木太町2191-1 TEL 087-831-1511
- 3.内 容 (1)中小企業経営塾(16:00～17:25)
テーマ 地域中小企業の生きる道
講 師 政策研究大学院大学教授 橋本 久義 氏
(2)交流会(17:30～18:30)
- 4.参加料 無 料
- 5.申込先 香川県中央会 総務部 TEL 087-851-8311 FAX 087-822-4377

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書 名	著 者	出版社/定価
1	人間の覚悟	五木 寛之	新潮社/714円
2	東大合格生のノートはかならず美しい	太田 あや	文藝春秋/1,000円
3	竹中式 マトリクス勉強法	竹中 平蔵	幻冬舎/998円
4	生声CD付き[対訳] オバマ演説集	CNN English Express編集部	朝日出版社/1,050円
5	悩む力	姜尚中	集英社/714円

香川県書店商業組合調べ